

# しまねの土地改良だより

平成24年4月1日発行

 水土里ネット島根

## ■ 全国水土里ネット表彰 — 本県2団体2個人が受賞 —

全国水土里ネット（全国土地改良事業団体連合会）主催の、全国水土里ネット表彰式が、3月27日、東京都千代田区のシェーンバッハ・サポールで開催されました。

表彰式には、各賞の受賞団体・受賞者をはじめ、来賓として仲野農林水産大臣政務官外農林水産省幹部、各都道府県の土地改良関係者が出席して、農業農村の発展に尽力した功績を称えました。

全国土地改良功労者表彰では、農林水産大臣表彰5地区、金賞37地区、銀章60地区、銅賞33地区、個人表彰102名が受賞されました。

また、農業農村整備優良地区コンクール表彰は、農業生産基盤部門6地区（農林水産大臣賞2地区、農村振興局長賞3地区、全国水土里ネット会長賞1地区）、農村振興整備部門5地区（農林水産大臣賞1地区、農村振興局長賞2地区、全国水土里ネット会長賞2地区）が受賞されました。

さらに、平成23年度21世紀創造運動大賞の表彰も執り行われ、大賞9土地改良区、特別賞1土地改良区が受賞されました。

このうち本県からは次の団体・個人が荣誉に輝きました。

### ◆ 団体表彰

- ☆金 賞 浜田市弥栄土地改良区（理事長 田野島 正徳）
- ☆銀 章 大田市三瓶土地改良区（理事長 原田 忠芳）

### ◆ 個人表彰

- ☆役員の一部 旧 雲南市吉田町土地改良区理事長 堀江 眞
- ☆個人の一部 益田市土地改良区事務局長 澤江 浩一



|                               |   |
|-------------------------------|---|
| ・全国水土里ネット表彰                   | 1 |
| ・お悔やみ                         | 2 |
| ・「第15回しまねの農村景観フォトコンテスト」入賞作品決定 | 2 |
| ・持続可能な水・土・里シンポジウム in 雲南開催     | 3 |
| ・全国水土里ネット第54回通常総会開催           | 4 |
| ・平成23年度島根県土地改良換地士部会開催         | 4 |
| ・お知らせ                         | 4 |

■ お悔やみ

全国水土里ネット副会長 段本氏 ご逝去

全国土地改良事業団体連合会副会長、元参議院議員、元島根県耕地課長（昭和59年～昭和63年在職）段本幸男氏（享年67歳）が、去る3月18日ご逝去されました。  
ここに謹んで哀悼の意を表しますとともに、ご冥福をお祈り致します。  
尚、「段本幸男先生お別れの会」が下記の通り執り行われます。

記

1. 日時 平成24年4月26日（木）午後1時30分～午後3時
2. 場所 海運ビル2階ホール（砂防会館向かい側）  
（〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-4 TEL03-3264-1825）
3. 主催 「段本幸男先生お別れの会」実行委員会  
段本家

■ 「第15回しまねの農村景観フォトコンテスト」入賞作品決定

島根の農山村の現状・魅力を広くPRするため、県と水土里ネット島根が共催で「第15回しまねの農村景観フォトコンテスト」を実施しましたところ、過去最高の226人の方から714点の応募があり、最優秀賞1点、部門賞4点、島根県緑化推進委員会会長賞1点、審査委員特別賞6点、入選10点、佳作10点、山陰フジカラー賞1点、農地・水特別賞1点が入選しました。

本コンテストは平成9年から実施しており、入賞された作品展示は、5月30日～6月5日まで島根県芸術文化センター「グラントワ」にて展示されたあと、県内各地でのイベント等で展示予定されます。展示のご希望があればご連絡ください。

尚、表彰式は6月3日（日）グラントワで午後1時から行います。



**最優秀賞**  
「収穫のよろこび」  
中島恒夫／撮影場所 出雲市



**部門賞（風景）**  
「津田かぶ干しから見える風景」  
山本敏彦／撮影場所 松江市



**部門賞（人物）**  
「畑帰り」  
山本孝之／撮影場所 松江市



**部門賞（施設）**  
「朝の水張田」  
行長好友／撮影場所 出雲市



**部門賞（イベント）**  
「ボク三代目」  
池田幸枝／撮影場所 飯南町

応募点数

| 風景  | 人物  | 施設 | イベント | 計   |
|-----|-----|----|------|-----|
| 309 | 204 | 75 | 126  | 714 |

（入賞作品は、本会ホームページでご覧になれます）

## ■ 持続可能な水・土・里シンポジウム in 雲南開催 ー里山の手入れの重要性をシンポで学ぶー

3月15日、雲南市大東町の大東地域交流センターにおいて、水源かん養機能を持つ里山の保全を考える「持続可能な水・土・里シンポジウムin雲南」を地域住民、行政関係者、農地・水保全向上対策活動組織など約120名が参加し開催しました。

このシンポジウムは、近年の異常気象や森林の荒廃等により、農業生産に欠くことが出来ない良質な農業用水を安定的に確保することが困難になりつつある中で、農業用水の水源として重要な役割を担う里山・森林について、地域全体で「手入れ」を行い、保全管理していく気運を高めることを目的に開催しました。



研究発表では、岡山大学大学院の森准教授、島根大学生物資源科学部の米、宗村両准教授、高橋助教の4氏が「健全な水源林の管理について」と題し、県内で実施した森林調査の内容と結果を紹介されました。

高橋助教は、まず過密な林の間伐が必要であるが、今後残すべき個体の成長を確保するため、更なる間伐が必要であり、間伐の適期や間伐木選択の判断基準が必要であることを報告。次に森准教授は間伐管理を行っている林や下草がある林の土壌は、有機物が多く、逆に間伐遅れの林は、有機物が少なく、特に農地跡の過密な林は、降雨によって養分が下流に流れていく可能性が強いことを報告。宗村准教授は斐伊川流域から宍道湖へ流下する負荷物質について、森林の維持管理をしっかりと行うことで、長期的に見れば削減できる可能性は十分ある、河川流域全体で負荷量削減することも大切だが、サブ流域単位で、削減方法を検討していくことが近道であると報告。米准教授は航空写真を用いて50年間の森林変化や農地跡の森林の抽出方法を報告。より良い水源確保のために、①間伐を行っていないところは間伐を、②間伐を行ったところもさらに適度な間伐を、③農地跡の森林から積極的に間伐を行う必要があると纏められた。



次に雲南市産業振興部の木村部長から、雲南市が積極的に取り組もうとしている市民による地域再生への取り組み「たたらの里山再生プロジェクト」について講演があり、次に同部吉田統括監から、森林バイオマスの活用構想について、詳細な説明がありました。

その後の質疑応答では、雲南市の積極的な取り組みについてたくさん質問が寄せられ、盛会裡のうちにシンポジウムを終えました。

## ■ 全国水土里ネット第54回通常総会開催

3月27日、都市センターホテル（東京都）で、各都道府県水土里ネットの関係者が出席して、全国土地改良事業団体連合会第54回通常総会が開催されました。

総会は、提出議案の平成23年度事業中間報告、同収入支出補正予算、平成24年度事業計画、同収入支出予算などの審議が行われ、いずれも原案通り承認・可決されました。

又、役員補欠選任が行われ、専務理事に中條康朗氏（元農林水産省農村振興局次長）が選任されました。

## ■ 平成23年度島根県土地改良換地士部会開催

3月7日に換地技術者等の技術の向上を図るため土地改良換地士7名の参加により、土地改良換地士部会を本会会議室にて開催しました。

土地改良換地技術者の活動援助、技術の向上、処遇の改善、相互連絡等の強化を図り、換地事務の円滑な処理体制に資することを目的に、今年度の換地処分状況、翌年度の換地事務量、事務処理量の把握、換地事務量の長期見通しについて確認しました。

また、技術の向上を図るため昨年中四国ブロックで行われた換地関係異議紛争処理対策検討会での発表事例について研修を行いました。

## ■ お知らせ

### ・退職者（3月31日付）

氏名 遠藤利夫 所属 技術支援グループ

氏名 山根誠市 所属 技術支援グループ

### ・新規職員採用（4月1日付）

氏名 松本浩志（22歳） 配属 技術支援グループ 出身 松江市



みどり  
「水」「土」「里」  
の未来を創造し働きます

「水」・・・農業用水や地域用水  
「土」・・・土地や農地  
「里」・・・農村空間、農家や地域住民が一体となった生活空間

水土里ネット島根（島根県土地改良事業団体連合会）

〒690-0876 島根県松江市黒田町 432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141  
ホームページ <http://www.shimanedoren.or.jp/> メール [smndoren@shimanedoren.or.jp](mailto:smndoren@shimanedoren.or.jp)